

DAT-1C / 2C方式

DAT-1C and DAT-2C systems (since 1974)

DAT-1C方式はC-12M方式の主群MGのうちSG5、6の2超群を使用して1.544Mbpsの伝送を行う。DAT-2Cは同じくC-12M主群を使用して6.312Mbpsの伝送を行った。

このために開発された変復調回路と等化器の技術は、初期のデジタル回路技術として、のちの高速モデムなどに影響を与えた。

DAT-1C / 2Cの概要

Overview of DAT-1C/2C system

項目	DAT-1C方式	DAT-2C方式
標準回線構成	2 500km 5リンク	2 500km 9リンク
最大リンク長	560km	560km
適用伝送方式	MG構成の有線無線伝送方式 ただし C-12M方式のMG1は1リンク C-60M方式の最低周波数MGは除く。	MG構成の有線無線伝送方式 ただし C-12M方式のMG1は除く。
情報伝送速度	1.544Mbps	6.312Mbps
多値形式	8値	12値
多値パルス周波数	530.75kHz	1.8598kHz
利用帯域	MG帯域中のSG5、6の2SG (1.188kHz ~ 1.532kHz)	1MG (889kHz ~ 1.997kHz)
等化器	自動等化器 + 固定等化器	自動等化器 + 固定等化器

DAT-1Cが使用したC-12MのSG

C12M SG used by DAT-1C

